

第68期 事業報告書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

Contents

- P 1 株主の皆様へ
- P 3 次期の見通し
- P 4 連結財務諸表
- P 6 会社の概要・株式の状況

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに当社の第68期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の事業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度における日本経済は、内需が好調に推移したことに加え、輸出の持ち直しも鮮明となり、景気は堅調に回復してまいりました。

世界経済につきましては、欧州経済は債務危機が沈静化に向かうことにより、後退局面を抜け出しましたが、緊縮財政や厳しい雇用情勢などが続き、低成長にとどまりました。アジア経済につきましては、外需依存度の高い新興国経済が先進国の景気回復に応じて、堅調に推移する一方で、年度後半には中国景気にやや不透明感が出てまいりました。米国経済は住宅市場の回復、個人消費の拡大などを追い風に、安定的な成長を維持してまいりました。

工業用ミシン業界におきましては、繊維産業の集積地である中国において人件費が高騰したことなどにより、労働集約的な縫製部門を、バングラデシュやベトナムなどのアジアの新興国や中南米諸国へ移転させる動きが顕著になったことを背景に、これらの市場での工業用ミシン需要が特に堅調に推移いたしました。自動車部品を中心とするダイカスト部品につきましては、欧州での完成車販売は低調に推移しましたが、米国に加え日本や中国アジア市場での完成車に対する需要が、底堅く推移いたしました。

このような環境のもとで、当連結会計年度の売上高は、140億67百万円（前年同期比38.3%増）となりました。

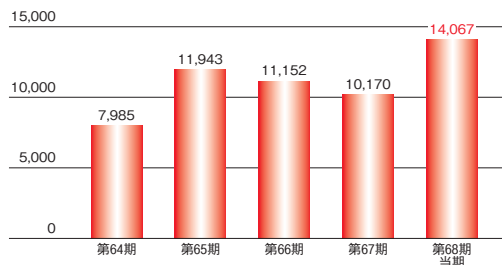
利益面につきましては、市場環境の変化に応じた販売戦略を展開したことや、コストダウンに努めたことに加え、当連結会計年度中での対米ドル為替相場が円安傾向で推移したこともあり、営業利益は11億18百万円（前年同期比5,033.1%増）、経常利益は12億60百万円（前年同期比372.4%増）、税金等調整前当期純利益は12億61百万円（前年同期比142.2%増）となり、法人税などを計上したことにより当期純利益は9億53百万円（前年同期比444.8%増）となりました。

株主の皆様には、今後とも引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月
代表取締役社長 清水盛明

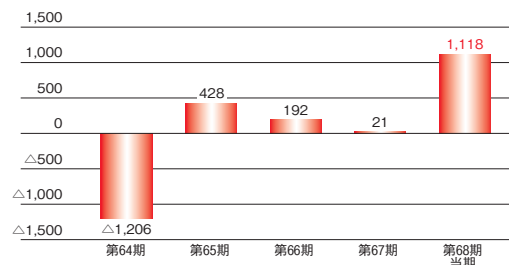
■売上高の推移

（単位：百万円）



■営業損益の推移

（単位：百万円）



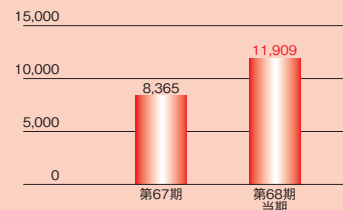
セグメント別の概況

工業用マシン

工業用マシンにつきましては、縫製産地の流動化に応じた販売戦略の展開に努めたほか、ベトナムでの生産機種、加工工程の拡大や中国生産拠点の合理化推進など、環境変化に対応した生産体制の整備に注力した結果、売上高119億9百万円（前年同期比42.4%増）、営業利益15億70百万円（前年同期比302.7%増）となりました。

【工業用マシン売上高】

（単位：百万円）

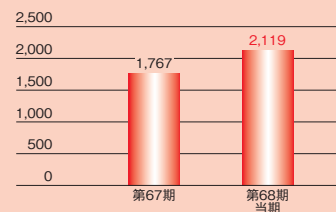


ダイカスト部品

ダイカスト部品につきましては、高品質を維持しつつ、一層の増産体制の整備を行うことにより、売上高21億19百万円（前年同期比19.9%増）、営業利益4億87百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

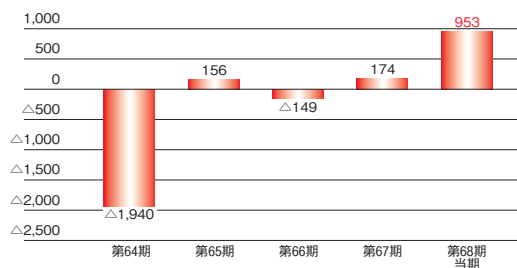
【ダイカスト部品売上高】

（単位：百万円）



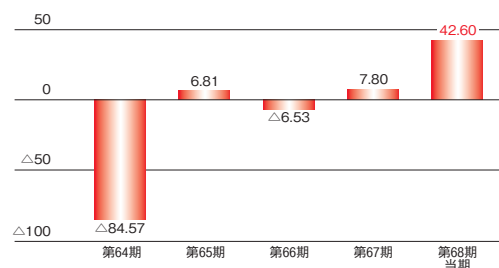
■純損益の推移

（単位：百万円）



■1株当たり純損益の推移

（単位：円）



今後の見通しにつきましては、中国経済に不透明感がくすぶっておりますが、先進国経済は回復基調を持続し、これを受けて外需依存度の高い新興諸国経済も堅調に推移すると予想されております。また、長期的視点からは、世界人口が確実に増加をしているなかで、新興国での生活水準の向上に伴う、衣料文化の高度化や、自動車需要の拡大は、今後も確実であると予想しております。

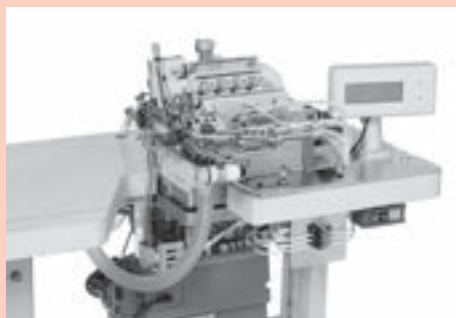
このような環境のもとで、当社企業グループの工業用ミシン事業におきましては、製品・品質・サービスでの優位性を生かした価格政策や、重点マーケットへの傾斜、縫製作業支援ツール・ソフトウェアの充実、さらには先進的な製品の提供などに努めるとともに、引き続き製造のコストダウンも推進することにより、増収・増益を見込んでおります。ダイカスト部品事業におきましても、生産部品の高付加価値化への対応を図るとともに、生産能力・生産拠点の拡大により、増収・増益を見込んでおります。

従いまして、次連結会計年度の連結業績の見通しにつきましては、連結売上高160億20百万円、連結営業利益15億円、連結経常利益13億70百万円、連結当期純利益11億70百万円を見込んでおります。

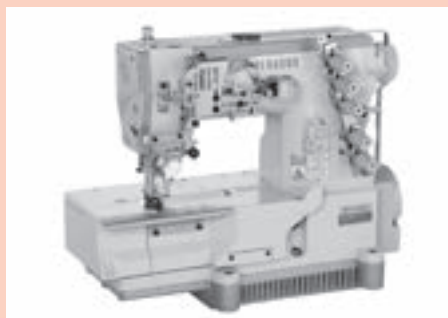
※上記見通しは、次のレートを前提としております。(米ドル：100円)

なお、上記業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますので、なにとぞご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

製品紹介



PHNシリーズ
●裾引きユニット



W3500Pシリーズ
●オイルバリアタイプ
2、3本針フラットベッド型偏平縫いミシン

[連結貸借対照表]

(単位：千円)

科 目	前期 (平成25年3月31日現在)	当期 (平成26年3月31日現在)	科 目	前期 (平成25年3月31日現在)	当期 (平成26年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	12,973,985	18,534,493	流動負債	4,620,730	7,121,311
現金及び預金	4,008,418	6,231,100	支払手形及び買掛金	312,304	1,508,089
受取手形及び売掛金	2,748,061	4,668,899	短期借入金	2,293,654	2,604,806
商品及び製品	2,582,504	3,238,609	1年内返済予定の長期借入金	1,054,649	1,064,123
仕掛品	443,148	700,473	1年内償還予定の社債	170,000	248,000
原材料及び貯蔵品	2,945,953	3,075,886	未払法人税等	301,456	563,556
繰延税金資産	27,834	196,915	賞与引当金	81,638	114,439
未収入金	6,444	6,860	その他	407,027	1,018,295
その他	251,571	458,065	固定負債	3,826,010	4,561,405
貸倒引当金	△ 39,952	△ 42,317	社債	196,000	758,000
固定資産	5,869,438	6,994,487	長期借入金	2,521,082	2,415,922
有形固定資産	4,683,776	5,490,604	長期預り保証金	130,334	130,988
無形固定資産	365,105	699,745	繰延税金負債	148,482	190,925
投資その他の資産	820,556	804,137	退職給付引当金	359,359	—
投資有価証券	539,672	490,321	退職給付に係る負債	—	606,930
繰延税金資産	—	3,652	その他	470,752	458,638
その他	280,884	310,163	負債合計	8,446,740	11,682,716
			(純資産の部)		
			株主資本	10,848,482	11,650,509
			資本金	1,906,750	1,908,750
			資本剰余金	2,053,073	2,055,073
			利益剰余金	7,283,268	8,169,136
			自己株式	△ 394,610	△ 482,450
			その他の包括利益累計額	△ 821,209	1,533,655
			その他有価証券評価差額金	40,273	93,368
			為替換算調整勘定	△ 861,483	1,632,451
			退職給付に係る調整累計額	—	△ 192,163
			少数株主持分	369,410	662,098
			純資産合計	10,396,682	13,846,263
POINT①	資産合計	18,843,423	負債・純資産合計	18,843,423	25,528,980

POINT②

POINT③

(注)金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

POINT① 流動資産は、前連結会計年度末に比べて42.9%増加し、185億34百万円となりました。これは、主として現金及び預金が22億22百万円、受取手形及び売掛金が19億20百万円、商品及び製品が6億56百万円、仕掛品が2億57百万円、繰延税金資産が1億69百万円、原材料及び貯蔵品が1億29百万円それぞれ増加したことなどによります。
固定資産は、前連結会計年度末に比べて19.2%増加し、69億94百万円となりました。これは、主として有形固定資産が8億6百万円、無形固定資産が3億34百万円それぞれ増加したことなどによります。
この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて35.5%増加し、255億28百万円となりました。

POINT② 流動負債は、前連結会計年度末に比べて54.1%増加し、71億21百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が11億95百万円、短期借入金が3億11百万円、未払法人税等が2億62百万円それぞれ増加したことなどによります。
固定負債は、前連結会計年度末に比べて19.2%増加し、45億61百万円となりました。これは、主として退職給付会計基準等の改正に伴う退職給付に係る負債が6億6百万円増加し、退職給付引当金が3億59百万円減少したこと、社債が5億62百万円増加し、長期借入金が1億5百万円減少したことなどによります。
この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて38.3%増加し116億82百万円となりました。

POINT③ 純資産合計は、前連結会計年度末に比べて33.2%増加し、138億46百万円となりました。これは、主として当期純利益が9億53百万円となり、為替換算調整勘定が24億93百万円、少数株主持分が2億92百万円それぞれ増加し、退職給付会計基準等の改正に伴う退職給付に係る調整累計額が1億92百万円減少したことなどによります。
自己資本比率は前連結会計年度末の53.2%から51.6%となりました。

[連結損益計算書]

(単位：千円)

科 目	前期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	当期 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)
売上高	10,170,750	14,067,496
売上原価	6,892,041	9,119,710
売上総利益	3,278,709	4,947,786
販売費及び一般管理費	3,256,925	3,829,601
営業利益	21,784	1,118,185
営業外収益	397,081	312,036
営業外費用	152,105	170,000
経常利益	266,759	1,260,221
特別利益	255,671	2,638
特別損失	1,502	1,241
税金等調整前当期純利益	520,928	1,261,617
法人税、住民税及び事業税	203,288	387,013
法人税等調整額	92,279	△ 112,349
少数株主損益調整前当期純利益	225,360	986,953
少数株主利益	50,426	33,879
当期純利益	174,934	953,074

(注)金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

[連結キャッシュ・フロー計算書]

(単位：千円)

科 目	前期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	当期 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)
POINT④ 営業活動によるキャッシュ・フロー	518,873	1,039,369
POINT⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 311,928	△ 498,775
POINT⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 161,740	686,931
現金及び現金同等物に係る換算差額	349,354	668,448
現金及び現金同等物の増減額	394,559	1,895,973
現金及び現金同等物の期首残高	2,610,211	3,004,770
現金及び現金同等物の期末残高	3,004,770	4,900,744

(注)金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

POINT④ 営業活動の結果得られた資金は、10億39百万円（前連結会計年度比100.3%増）となりました。これは主として税金等調整前当期純利益12億61百万円、減価償却費5億17百万円、仕入債務の増加額5億8百万円、支払利息1億5百万円に対し、売上債権の増加額12億11百万円、法人税等の支払額1億90百万円、利息の支払額1億13百万円などによります。

POINT⑤ 投資活動の結果支出した資金は4億98百万円（前連結会計年度比59.9%増）となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出4億76百万円、無形固定資産の取得による支出2億66百万円に対し、固定資産売却手付金による収入2億40百万円、投資有価証券の償還による収入1億円などによります。

POINT⑥ 財務活動の結果得られた資金は6億86百万円（前連結会計年度は支出1億61百万円）となりました。これは主として社債発行による収入額8億79百万円、短期借入金の純増加額2億16百万円、少数株主からの払込による収入額1億78百万円に対し、社債の償還による支出額2億60百万円などによります。

会社の概要・株式の状況



創 業 大正3年1月
設 立 昭和22年1月8日
資 本 金 19億875万円
従 業 員 数 223名（従業員数には、臨時従業員（パートタイマー、顧問および派遣社員）および他社への出向者は含まれておりません。）

U R L <http://www.pegasus.co.jp>

役員および執行役員の状況（平成26年6月24日現在）

代表取締役社長	清水盛明
専務取締役執行役員	末永高生
常務取締役執行役員	勝連雅之
常務取締役執行役員	舟引康之
取締役執行役員	美馬成望
取締役執行役員	高田孟昊
監査役（常勤）	奥村正幸
監査役	古寺樹志
監査役	定藤隆志
上席執行役員	嘉数田村
上席執行役員	中村高司
上席執行役員	朝子と高洋
執行役員	瀬戸と倫
執行役員	谷口と泰
執行役員	吉田と弘
執行役員	大西

株式の状況（平成26年3月31日現在）

発行可能株式総数 76,928,000株
発行済株式の総数 22,162,099株
（自己株式1,617,901株を除く。）

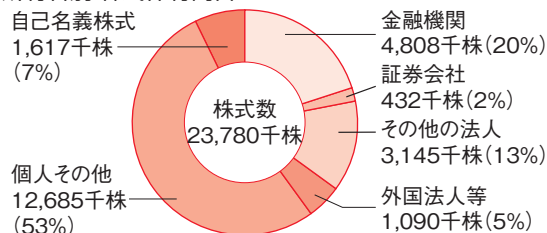
株主の総数 5,276名

株 主 名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,641千株	7.40%
株式会社美馬	1,553千株	7.01%
板東 敬三	831千株	3.75%
株式会社三井住友銀行	830千株	3.75%
吉田 隆子	709千株	3.20%
ペガサスミシン従業員持株会	675千株	3.05%
美馬 成望	611千株	2.76%
前尾 和男	529千株	2.39%
板東 雄大	494千株	2.23%
美馬 正道	436千株	1.97%

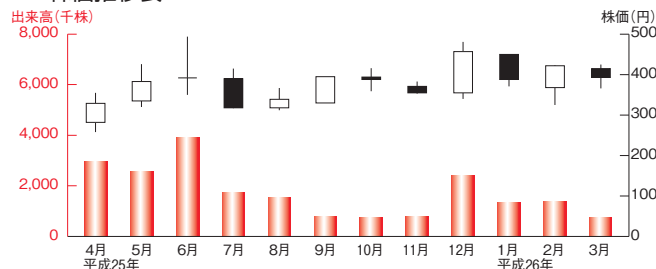
- (注) 1 千株未満は切捨てて表示しております。
2 当社は、自己株式1,617,901株を保有しておりますが、上記株主からは除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況（平成26年3月31日現在）

●所有者別 株式保有割合



株価推移表



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期 末 配 当 金 毎年3月31日 中 間 配 当 金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(インターネット ホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	当社のホームページに掲載する。 (http://www.pegasus.co.jp) ※ただし、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告する。
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

WEBサイトのご案内

<http://www.pegasus.co.jp>

会社案内をはじめとしてIR情報、採用情報及び製品情報など様々なコンテンツをご用意しております。ぜひご覧ください。

創業100周年記念祝賀会について

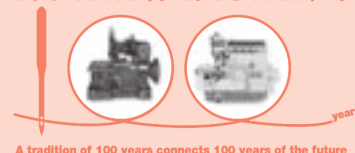
2014年3月7日(金)開催

私どもベガサスミシン製造株式会社は、おかげさまでもちまして2014年1月に創業100周年を迎えることができました。

同年3月に官公庁ならびに業界団体約200名をお招きし、記念祝賀会を開催いたしました。



これまでの100年。これからの100年へ。



100周年ロゴ



環境に配慮した
植物油インキを
使用しています。